

輸出事業計画

※申請者名：丸山製茶株式会社 品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・丸山製茶(株)は1933年に創業し、地元農家と協力して製茶販売を開始。2003年からは海外事業も開始。
- ・主要な輸出先地域は北米、EU諸国、アセアン諸国であり、60以上の国・地域と取引実績がある。
- ・緑茶、特に抹茶・粉末茶を中心に、北米、EU諸国の展示会へ積極的に出展し、販路維持拡大を実施。
- ・安定した販売先や販売ルートにより、2022年輸出額1,455百万円、輸出量400トンの実績となる。

【課題】

- ・世界的な抹茶ブームもあり、輸出先における有機茶需要が高まる一方、有機茶の栽培圃場が不足している。
- ・碾茶加工についても、需要の急増に対して作業・製造が追いついておらず、現在は掛川市外を含む関連企業への外注により対応できているものの、製造ラインを強化（自動化、機械導入等）する必要がある。
- ・輸出相手国から求められる基準、規制等をクリアするための、検査・検知器の設置。



2. 輸出事業計画の取組内容

【生産・製造】

- ・有機栽培の自動化・省力化に向けた、平坦で広い区画の圃場整備を推進し、掛川産の有機抹茶の原材料確保と碾茶製造工場の新設や確保に努める。
- ・掛川市内での碾茶製造体制を確立し、将来的には自社による工場新設や空き工場取得も視野に入れ、輸出量の増加に対応できる製造環境の整備に努めていく。

【加工】

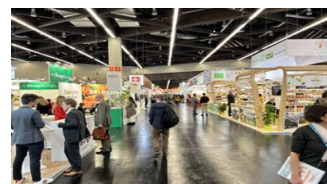
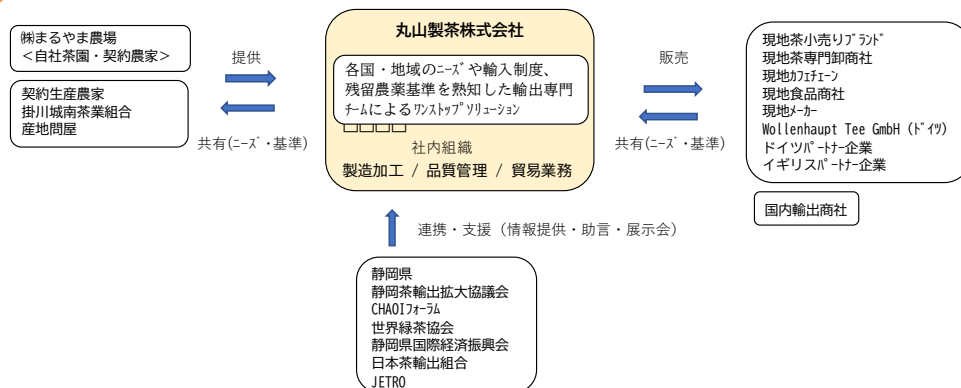
- ・オーガー式粉体充填機や真空搬送装置の導入により、作業の効率化・安全性の向上を図るとともに、オーガー式粉体充填機にマグネット金属異物除去装置を設置し、併せてX線検査装置の設置によるダブルチェック体制により、一層厳格な品質管理体制を確立させる。

【販売】

- ・上記の取組により、FSSC22000の更新取得を行い、より良質で安心安全な製品の安定提供に努め、世界各国・地域の取引先からより一層の信頼を獲得し、既存顧客への販売増だけでなく、新規顧客獲得や販路拡大につなげていく。



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和4年）	目標年（令和8年）
輸出額（円）	1,455,803,000	1,575,808,000
輸出量（t）	400.63	433.65
輸出先国	EU・米国・台湾・ロシア・カナダ他	EU・米国・台湾・ロシア・カナダ他